

スカッシュ SQUASH

始まり

スカッシュの起源は およそ 1830 年代に始まった。

普及性

185 か国以上の国で親しまれ、コート数は 50,000 を超え北は北極圏のロングイヤーバイエンから、南は南アメリカの最南、ユシュアニアまでくまなく存在する。

男女の世界チャンピオンが、全 5 大陸から生まれている。

体制

5 つの地域連盟と、143 か国がすべて世界スカッシュ連盟 (WSF) に加盟している。

メジャー大会

オリンピックを除く全てのメジャー競技大会 (アジア競技大会、パンアメリカン、コモンウェルスゲーム、アジアビーチゲーム) に採用されている。

チャンピオンシップ

2013 年 2014 年の世界選手権の開催国は、フランス、ポーランド、ナムビア、カタール、カナダそしてカイロ。

プロツアー

昨年は 47 か国で公認大会が開催され、74 か国から選手が参加している。

ジュニア

WSF は、男女のジュニアサーキットにはワールドジュニアオープン、リジョナルジュニアオープン、ナショナルジュニアオープンが含まれ、その大会に付随した世界ジュニアランキングをもっている。

男女同等

スカッシュは、完全に男女平等を目指し、すでに男女賞金同額をメジャー大会で実施している。

アンチドーピング

100%世界アンチドーピングルールに従っている。

テレビ放映

スカッシュは、スカッシュ TV（プロダクション、機材、スタッフ）を形成し、全てのメジャー大会の映像を提供。フォックス、スカイ、アルジャジーラなどの大手放送局を提携している。1月のワールドシリーズファイナルはユーロスポーツが、ヨーロッパ47か国で生中継した。画質はスーパーHDを採用。

改革

同時に、コートを放映用にデザインし、ショーをしての要素を重視しつつ、快適な競技空間も共存させた4面ガラスコートを製作。

オリンピックの有利性

オリンピックゲームズでは、男女シングル2種目は、32名ずつ計64名で実施可能。金メダルは2つ増えるのみ。

既存の施設や屋外を利用して会場設置が出来るため、低コストで実現可能。

パラスカッシュ

聴覚障害者スカッシュなども世界選手権があり、車いすスカッシュも近年試行されている。

アスリートの為に

選手にとって、オリンピックメダルは、真の頂点に値するもの。
ニコール・デービッド(マレーシア)は、自己の7つの世界タイトルを、たった1つのオリンピック金メダルに変えてもいいと言う。

オリンピックへの新しい活力

候補に既にあがっている競技の中で、進化するオリンピックに新しい風を吹かせる事が出来る競技である。

SQUASH IS NEW, SQUASH IS READY